

授業科目	保育内容「言葉」(AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH11212J		
開講年次	1 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	高原 恵子							
授業概要	<p>子どもの言葉の育ちについて学び、またその言葉の育ちを支える保育者の援助や環境の在り方について、様々な事例と視聴覚教材を通して理解を深める。</p> <p>児童文化財についての理解を深め、子どもの言葉を支えるための実践研究を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 保育内容「言葉」のねらいと内容について理解することができる。</p> <p>2 乳幼児期の言葉の育ちの過程について、映像を通して理解することができる。</p> <p>3 子どもの言葉の育ちを支える児童文化財の教材研究を行い、グループ製作を通して実践的指導力を身に付ける。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	50	20	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			10	20	10		40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				10	10		20	
技能・表現 (DP5-3)			10	20		10	40	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>幼児の言葉の発達は、様々な遊びや環境とのかかわりの中で育っていくことを理解する。従って自らの子どもに対する姿勢、保育の在り方を認識することで、指導力が深まっていくことができる。</p> <p>また、言葉の育ちを支える児童文化財の出合わせ方について工夫し、実践していくことができる。</p>				<p>言葉の獲得には遊びやモノを媒介とした人とのコミュニケーションが必要であることを認識し、子どもとのかかわり方について理解することができる。</p> <p>また、子どもの言葉を支える様々な児童文化財を知り、発達にそった教材研究、教材作りを行うことで実践力が身についていく。</p>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p>テーマ: オリエンテーション</p> <p>授業の概要について説明し、授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。</p> <p>「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「言葉」について理解する。</p>	シラバスを用いてのオリエンテーションを行う。	講義内容を振り返る。	30
2	<p>テーマ: 絵本の教材研究と実践</p> <p>乳幼児期における絵本の役割について理解する。</p> <p>絵本の読み方、留意点について理解する。</p> <p>絵本各論: 絵本の視覚表現・絵本の言語表現について知る。</p>	「絵本」の読み聞かせ方のプリントを配布する。	予習: 年齢、季節を考えて絵本を選択し、各自絵本読みを練習しておく。	60
3	<p>テーマ: 絵本の教材研究と実践</p> <p>絵本の読み聞かせを各自発表し、実践について振り返る。</p> <p>絵本読みについての反省点と今後の課題について記入する。</p> <p>様々なジャンルの絵本: 物語を題材とした絵本の特性・絵本における絵と言葉で語る技法について理解する。</p>	各自絵本読みを発表する。 実践後まとめを行う。	予習: 年齢、季節を考えて絵本を選択し、各自絵本読みを練習しておく。 復習: 各自実践後の自省についてまとめる。	60
4	<p>テーマ: 言葉を育む児童文化財①</p> <p>紙芝居、ペープサート、パネルシアターについての特徴と実践上の留意点を学ぶ。</p>	実物を提示し、プリントを配布して説明する。	復習: 言葉を育てる児童文化財の内容について調べておく。	30
5	<p>テーマ: 言葉を育む児童文化財②</p> <p>劇あそび、ごっこ遊びの実際について実践上の留意点など、視聴覚教材を通して考える。</p>	ビデオ、実践記録(プリント)を配布し説明する。	復習: 言葉を通して仲間を育てる 保育について、ビデオを通して理解したことをまとめる。	60
6	<p>テーマ: 言葉を育む児童文化財③</p> <p>子どもの発達と遊び歌、動きのおもしろさや速さを楽しむ歌遊びについて学ぶ。</p>	プリントを配布し、個人及びグループで実演する。	演習の振り返り	30
7	<p>テーマ: 模擬保育①</p> <p>ペープサート・パネルシアターの実践と考察児童文化財を用いた実践研究をグループの中で協議する。</p>	各グループで教材研究を行い、まとめる。	教材作りの内容、分担割について各グループで協議し決定しておく。	40
8	<p>テーマ: 模擬保育②</p> <p>グループに分かれて、テーブルシアター・紙芝居の実践と考察を行う。</p>	グループで協力して実践を行う。	製作内容、進行状況についてリーダーを中心に協議しておく。	30
9	<p>テーマ: 言葉の発達を促す保育①</p> <p>0、1歳児の言葉の発達と保育者の援助について理解する。</p>	講義を行う	講義内容の振り返りを行う	60
10	<p>テーマ: 言葉の発達を促す保育②</p> <p>2歳児言葉の発達と保育者の援助について理解する。</p>	講義を行う。	講義内容の振り返りを行う。	40
11	<p>テーマ: 言葉の発達を促す保育③</p> <p>3、4、5歳児の言葉の発達と保育者の援助について理解する。</p>	講義を行う。	講義内容の振り返りを行う。	30
12	<p>テーマ: 言葉が育つ環境の在り方</p> <p>言葉が育つ環境的条件、子どもの言葉を豊かにする環境条件について学ぶ。</p> <p>絵本と出会う: 保育・教育現場における絵本の意義、保育・教育現場における絵本を用いた活動の具体的な取り組みについて知る。</p>	実践記録を読み合い、手だてのポイントを出し合うためのワークシートを行う。	予習: 次回の実践記録を読み、自分なりにまとめる。	30
13	<p>テーマ: 子どもの言葉と保育者のかかわり</p> <p>事例を通して、子どもの言葉から発達や心の読み取りについて幼児理解のあり方を学ぶ。</p>	実践記録を読み合い、グループで話し合っ発表を行う。	発表内容を整理する。	30

14	<p>テーマ: 言葉と文字の広がり 文字に興味・関心を育む環境の在り方について学ぶ。 絵本の持つ力: 絵本が持つ力のとらえ方、絵本についての批評について知る。</p>	<p>実践記録を通して文字に関心を示す環境の在り方を説明する。</p>	<p>講義内容を振り返る。</p>	30
15	<p>テーマ: まとめ これまでの授業を振り返り、保育内容「言葉」のねらいと内容について確認する。</p>	<p>授業のまとめを行い、振り返りのレポートを作成する。</p>	<p>復習: これまでの授業内容を振り返り、ノートにまとめて提出できるようにしておく。</p>	40
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>各種実習での子どもの様子や保育の在り方について振り返っておく。また児童文化財の内容や方法等について理解しておく。特に「子ども文化」はよく復讐しておく。</p>			
テキスト	<p>なし、毎回の授業において資料プリントを配布する。</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>久富陽子「保育実践—児童文化財の魅力とその活用・展開—」萌文書林 高山智津子・富永満理「絵本で広がる子どものえがお—発達にそった年齢別読み聞かせ」チャイルド社 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年告示)</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>個人研究発表、グループ研究発表を随時授業内で発表していく。さらに授業で出された課題についてグループ協議を行う中で、積極的に自分の考えを出し合う姿勢を持っていただきたい。</p>			

達成度評価に関するコメント	レポートの内容については、授業の中で指示する。 その他の評価は授業への貢献度に基づいて行う。
---------------	---